

志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会収支状況報告

【収入】

平成30年2月現在

項目	H25~28決算額	H29見込額	計	備考
協賛募金	39,009,201	0	39,009,201	1,748件(町内:965件、町外:783件)
町補助金	17,329,816	0	17,329,816	映画制作費補助、専従職員補助
製作委員会配分金	4,283,727	713,568	4,997,295	劇場映画配給収入等
その他収入	1,128,431	2,074	1,130,505	山形の宝資源活用化実行委員会繰入金等
計	61,751,175	715,642	62,466,817	

【支出】

項目	H25~28決算額	H29見込額	計	備考
普及啓発費	3,653,838	32,982	3,686,820	活動諸費、HP運営費ほか
事務局費	2,024,098	150,000	2,174,098	郵便料、専従職員賃金、旅費ほか
映画制作費委託料	51,800,000	0	51,800,000	
映画撮影協力費	1,414,928	0	1,414,928	
映画上映広報費	2,736,283	0	2,736,283	
計	61,629,147	182,982	61,812,129	

収入支出差引金額 654,688円（見込額）は町に帰属することとします

全国保険医新聞の掲載記事（読者投稿）から

何人も等しく医療を

愛知県保険医協会 医師 下村 啓 さん

いしゃ先生こんにちは！映画で初めてお会いすることができてありがとうございます。

志田周子医師の生涯を描いた映画「いしゃ先生」の大好きな言葉は、もちろん保健文化賞授賞式で語った「私の夢は、何人も等しく医者にかかれる世の中がくることです。（中略）なぜなら、命だけは平等だと思うから……（後略）」です。いしゃ先生の死の翌年に、待望の国民皆保険制度が誕生しました。いしゃ先生がその時に生きておられれば、どんなに喜んでいただろうか。

当時は、貧困・無知・偏見の時代で、いしゃ先生一人の犠牲による地域医療であったと感じました。いしゃ先生は食道癌で入院後、無医村となった村の将来を心配し、診療所に戻ることなく亡くなりました。いしゃ先生が往診途上でオリオン星を眺めて詠んだ歌碑があります。希望の星座に召されたのではないのでしょうか。

映画を見終わっていしゃ先生は、「野に咲く小花のように」目立たないが精一杯に生き抜いた生涯であったと思いました。



保健文化賞を手にする周子先生

西山にオリオン星座かかるをみつつ患家に急ぐ雪路を踏みて（昭和32年冬）

大井沢の夜はすばらしい。（略）特に美しいのはオリオン星である。夜空に刻みこまれたあの星座は確かに周子の星だと思うようになってきた。（『周子の生涯』から 著者鈴木久夫さん）

▷オリオンの歌碑は、旧大井沢小中学校の敷地内に設置されています。